

自分の世界を 広げる体験を！



第48期

青年ボランティアリーダー養成講座

募集要項

kayakをつくって海へ！



民宿に宿泊！



大運動会も！



ハーレー船大会！



砂浜で焚き火！

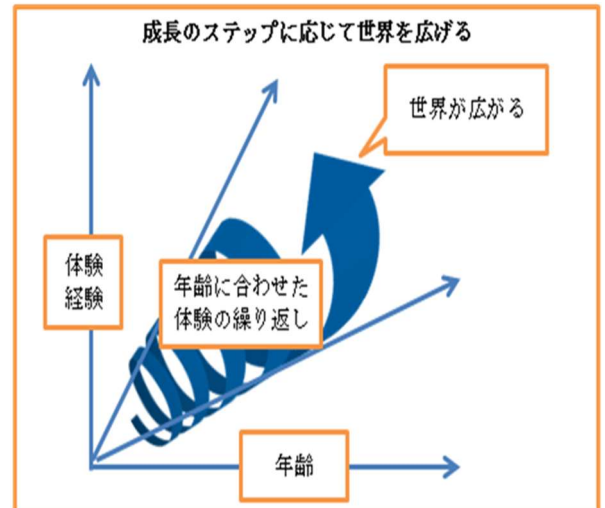
公益財団法人
国際青少年研修協会

公益財団法人 国際青少年研修協会

私たちは、「日本と諸外国との子どもたちがお互いに交流し、成長していくための活動」の支援を目的に活動をしています。活動において、言語や普段の生活のマナー・ルール、習慣はそれぞれ異なりますが、共に活動する中で、子どもたちの心に寄り添い、子ども同士の友情を育む様々な支援を行います。

●国際青少年研修協会のプログラムの特色●

団体生活や国際交流の場における体験を通じて、青少年の自主性（自らすすんで行動する）、社会性（コミュニケーションと仲間作り）、人間性（思いやりの心）とともに広い視野を培い、『自分の世界を広げる青少年づくり』の実現を目指しています。本会では、少年から青年に至る人生のうちで最も感受性の豊かな大切な時期に、その成長段階にあわせた様々なプログラムを設けています。また、安全で質の高い体験の機会を与え、効果的な示唆によってその成長を促進し、人間として優れた人格を備え、将来の国際社会を担うために大切なことを学習することのできるプログラムを構成しています。



1 青年ボランティアリーダーの募集及び養成の目的

『自分の世界を広げる青少年づくり』の支援のため

子どもたちの成長に必要な「野外活動・国際交流プログラム」等の運営及び支援を目的に、青年ボランティアリーダーの募集及び養成を行っています。

2 青年ボランティアリーダーに求められるスキル及びその習得

青年ボランティアリーダーには、「仲間づくりを支援するスキル」、「安全管理・健康管理を行うスキル」の他、「様々な場面における渉外力・調整力」などが求められます。これらのスキルについては、後述の養成講座において、習得を目指しますので、積極的な姿勢で受講してください。

3 受講対象

受講にあたっては、下記を満たす方が対象となります。

- ① 国際青少年研修協会の目的・主旨に賛同する方
- ② 18歳以上の方（高校生不可）
- ③ 野外活動および国際交流に興味のある方
- ④ 子どもたちと一緒に活動（寝食生活含む）することに情熱を持ち、積極的な姿勢で取り組むことができる方

青年ボランティアリーダーの主な役割

青年ボランティアリーダーは、プログラムのねらいや主旨等を理解したうえで、「自然」や「人」との交流から子どもたちの「感性」を育み、集団活動の手法を使って、一人ひとりの成長を支援します。子どもたちと一緒に様々な野外活動を行い、同じ屋根の下で寝食を共にする共同生活を通して、一緒に楽しみ、思い出と感動を分かちあう中で、子どもたちをリード（ある時はサポート）し、安全で楽しい活動ができるよう導きます。また、参加者、ボランティアリーダー相互の成長につながるよう、より良い相互学習の場づくりを行い、自分自身も成長することを目指します。活動時には、班付きリーダーとスキルリーダーに分かれて活動します。

＜班付きリーダーの役割＞

1. 性別、年齢、地域などが異なる日本人と諸外国の子どもたち（青少年の参加者）、約7～13名で構成される班を1名で担当し、子どもと一緒に活動期間中の全生活を共にする中で、班員とのコミュニケーションを十分に取リながら、班全体の指導にあたります。
2. 担当する班の子どもたち一人ひとりをよく理解したうえで、子どもの成長の支援を行います。
3. 担当する班の子どもたちの健康管理及び安全管理を行います。また、子どもたちの健康状態については、毎日記録を行い、適切に管理します。
4. スキルリーダーと協力して、プログラム全体を参加者主体で盛り上げます。

＜スキルリーダーの役割＞

1. プログラム全体の準備と運営を運営統括責任者等と共にを行います。
2. プログラムが円滑に運営できるよう、必要な備品の準備や管理を効率よく行います。
3. 活動の記録を管理します。
4. 班付リーダーと協力して、プログラム全体を参加者主体で盛り上げます。

青年ボランティアリーダーの待遇

体験実習参加中の寝食に係る費用及び交通費については、体験実習費を除き本会が負担します。また、活動中（講座、体験実習）における万一の事故・ケガに備え、ボランティア保険（賠償保険）に加入をしています。

本会認定リーダーへの認定制度

1年間（前期・後期）の受講および体験実習（キャンプ・ヨロンへのリーダー参加）後、次の内容を満たしている方を本会の認定リーダーとして認定する制度があります。

認定後は、本会の認定リーダーとして、国内・海外プログラムの引率、養成講座の運営など本会プログラムに幅広く活躍していただけます。

《認定リーダーに求められる能力》

野外活動において適切に安全管理ができる、レクなどを用い仲間づくりの支援ができるなど
青年ボランティアリーダーとして必要な能力

《認定リーダーの認定条件》

1. 年間を通じた養成講座への出席が7割以上であり、本会が今後も一緒に活動を望む方
2. 青少年交流キャンプ・ちびっこ探検学校ヨロン島へリーダーとして参加していること
3. 上記認定リーダーに求められる能力を備え、認定試験に合格すること

後期講座を受講
→ヨロン島引率

前期講座を受講
→富士山キャンプ引率

認定試験に
合格！！

認定リーダーと
して活動！！

講座日程及び内容

講座日程

養成講座は、体験活動の引率における様々な技術、子どもとの接し方（対象者理解）、安全管理（リスクマネジメント、危険予知トレーニング）などについて、リフレッシュしながら楽しく身につけることができる学びの場です。下記のとおりオンライン研修と対面研修を併用するハイブリッド式で研修を行います。

「なぜ体験活動が必要なのか？」など、養成講座で学び、一緒に考えていきましょう。

※養成講座を修了した後に、習得した技術の実践の場として「体験実習」を設定しています。

養成講座	日時	実施方法	内容
第1回	11月15日（日） 19:00～21:00	オンライン	□オリエンテーション □公益財団法人国際青少年研修協会について □体験実習（ちびっこ探検学校ヨロン島）について □体験活動の意義 □リーダーの役割
第2回	11月22日（日） 10:00～17:00	対面	□レクリエーション技術の説明・実践 □参加者の心身理解 □参加者との接し方（対象者理解）
第3回	11月29日（日） 19:00～21:00	オンライン	□参加者情報の見方 □安全管理手法の説明（集合、整列点呼等） □ロープワーク
第4回	12月6日（日） 10:00～17:00	対面	□引率時における安全管理 □危険予知トレーニング・RME □イカダづくり
第5回	12月13日（日） 19:00～21:00	オンライン	□First Aid □参加者対応に係るケーススタディ
第6回	12月20日（日） 10:00～17:00	対面	□水泳救急法・市民救急法 □英語に触れよう □活動スケジュール等の読み込み手法 □参加者対応に係る実践

《養成講座の受講にあたっての注意点》

- * 原則、全日程に出席してください。やむをえず欠席・遅刻する場合は、事前に連絡してください。
- * 参加できない日程がある場合は、事前にご相談ください。
未履修の単位について、補講を行う場合があります。
- * 会場の部屋番号及び必要な持ち物は、改めてお知らせします。
施設の予約状況により、別会場を使用する場合があります。
- * 本会リーダーとしてふさわしくないと判断した場合、受講をお断りする事があります。

会場（対面時）

国立オリンピック記念青少年総合センター（NYC）

住所：東京都渋谷区代々木神園町3-1 <<http://www.niye.go.jp/>>

交通：小田急線『参宮橋』駅より徒歩10分、千代田線『代々木公園』駅より徒歩15分

受講料

¥5,000-（教材費・保険代・会場費・講師代などを含む）

- * 受講料は第2回養成講座の受講時にお支払いください。
- また、自宅～会場までの往復交通費、食事代は自己負担となります。

講師の紹介

《主任講師》 村田 優也

キャンプディレクター1級（公益社団法人日本キャンプ協会）、NEAL リーダー・自然体験活動指導者（全国体験活動指導者認定委員会）等の資格を有し、養成講座の主任講師を務める。

国際青少年研修協会（KSKK）では、近年実施した国内行事の責任者（青少年国際交流キャンプ-キャンプ長・サイト長、ちびっこ探検学校ヨロン島-校長・スキルチーフ）等を務めている。

《講師》 豊田 洋一

埼玉県秩父、長瀬をベースにリバーラフティングガイドとして活動している。アウトドアの活動に伴う安全を担保する目的で野外救急の資格を有し、ファストエイドの講座を担当する。

《講師》 石津 猛

登戸スイミングクラブ 25 年在籍後、1999 年 4 月に全国第 1 号となる NPO 法人の資格認証を得て、「NPO 法人 JAEA（ジャイア）」を創設し、理事長に就任。「災害救援・救護活動」、「水難救護・救護員の養成活動」、「プール施設の安全管理普及活動」、「水泳支援活動」等に從事している。水泳救急法・心肺蘇生法の講座を担当する。

体験実習

本会の国内交流プログラムである「ちびっこ探検学校ヨロン島」とは、鹿児島県の最南端に位置する「ヨロン島」で、全国から集まった日本人約 120 名と在日の外国人約 60 名が**民宿に宿泊しながら、非日常的で魅力的な体験活動を行うプログラム**です。具体的には、エメラルドグリーンの海でハーレー船大会を行ったり、サトウキビ絞りなどを行います。参加者はそのような体験を通じて交流を深めます。

体験実習として、このプログラムに、「班付リーダー」又は「スキルリーダー」として参加し、一緒に**プログラムを運営**していただきます。

※**原則、全体ミーティング及び体験実習の全日程の参加が必要です。**

また、参加者の人数等の理由により、選考となる場合があります。

＜全体ミーティング＞ @国立オリンピック記念青少年総合センター（NYC）

	日時	
第 1 回	2月 7日（日）	13：00～17：00
第 2 回	2月 21日（日）	13：00～17：00
第 3 回	3月 14日（日）	13：00～17：00
第 4 回	3月 21日（日）	13：00～17：00

＜体験実習＞ @鹿児島県与論島、沖縄県那覇市

日程	内容
<u>2027 年 3 月 26 日（金）～4 月 1 日（木）</u>	第 51 回ちびっこ探検学校ヨロン島
4 月 18 日（日）	事後報告会

* 事後報告会の会場や日程の変更があった場合は、事前にお知らせいたします。

体験実習費 **¥20,000-**

※体験実習費に含まれるのは、羽田空港から与論島までの往復交通費（飛行機・船）、食費、宿泊費、教材費、保険代等で、経費は体験実習費を除き、本会にて負担いたします。

※自宅～集合・解散場所までの交通費は各自負担となります。

保険について

不慮の事故・ケガにそなえ、本会では傷害保険を右記の内容で加入していますので、万一、活動中に事故が発生した場合には、右記の保険が適用されます。
また、体験実習に参加いただく場合には、
右記保険に加え賠償責任保険をかけております。

保険	補償額
死亡保険金	1,000 万円
入院保険金	1 日 4,000 円
通院保険金	1 日 2,500 円

参加申し込みについて

下記連絡先までご連絡ください。

	03-6825-3130
	info@kskk.or.jp

◆申込締切：11月8日（日）締め切り

参考：事前説明会（オンライン形式）

参加を迷われている方や活動内容を詳しく知りたい方向けに、次の日程で、事前説明会（オンライン形式）を行っています。

- ①10月 4日（日） ②10月 11日（日）
③10月 18日（日） ④10月 25日（日） 各回 19:00~20:00

□国際青少年研修協会って何をやっているところ？

□青年ボランティアリーダーってどんなことをするの？ といった疑問にお答えしますので、
どうぞお気軽にご参加ください。

※事前説明会への参加を希望される方についても、前項の連絡先までご連絡ください。

※事前説明会へ参加しなくてもお申込みいただけます。

《お問い合わせ》

公益財団法人 国際青少年研修協会（文部科学省 所管）
International Youth Association of Japan K.S.K.K.
〒170-0013 東京都豊島区東池袋 1-18-1 Hareza tower20 階
TEL：03-6825-3130 FAX：03-6369-3969 E-Mail：info@kskk.or.jp
企画・運営：高田裕之、村田優也（養成講座主任講師兼本会認定指導者）